

令和3年4月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和3年4月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和3年4月26日（月） 13時30分～15時45分
十日町市役所川西庁舎 1階 地域活動室

2 出席

蔵品泰治教育長、佐藤美佐子委員、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（渡辺正彦）、文化スポーツ部長（金澤克夫）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（佐藤研一郎）、指導管理主事（細木久成）、生涯学習課長（樋口具範）、文化財課長（石原正敏）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、情報館長（笠原実）、文化観光推進室長（渡辺正範）

4 会議の内容

（1）3月の会議録の承認

（2）会議録署名委員の指名

署名委員：庭野委員、廣田委員

（3）議決事項

① 議案第1号 十日町市教育委員会教育長の職務代理に関する規則の制定について 蔵品教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・第3条に事務の一部の事務を委任できるとあり、第1順位、第2順位があるが、例えばAという事務は子育て教育部長、Bという事務は文化スポーツ部長のような割り振りも考えられるが、こういった解釈か。

富井教育総務課長

- ・ここは教育長が総括する全体的な事務の委任順序を定めたものである。

渡辺子育て教育部長

- ・補足だが、市長が欠けた場合も第1位は総務部長、第2位は市民福祉部長、第3位は産業観光部長という事務委任の順位付けがある。仮に教育長が欠けて自分に事務が委任された場合、教育長の事務をしながら子育て教育部長の事務をすることになる。具体的には教育長決裁の文書を子育て教育部長が決裁することになる

廣田委員

- ・第2順位に行くのは、こういったことを想定しているのか。

渡辺子育て教育部長

- ・事務委任を受けた子育て教育部長に事故があったときを想定している。

(以上の質疑のあと決定した)

(4) 報告事項

① 共催・後援等報告

- ・資料のとおり

② 報告第1号 第二次十日町市子ども読書活動推進計画の策定について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

笠原情報館長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・学校によって図書の実度や予算に差があるのか。誰がチェックして指導しているのか。

蔵品教育長

- ・学校の図書の予算については地方交付税で基準が決められており、それを各学校に配当している。ただ学校によっては図書分として配当しても、デジタル機器等の他のものに使用しているところもある。また、図書整理の人員が不足しており、情報館の職員が支援しているが、それでも充分でないところがある。だが、子どもの読書活動に対する取組は重要であると考えており、デジタル化が進む今の時代においても、例えば試験の問題を解く、理解するなど学力向上のためにも文字を読む、理解する活動は大事なものであると考えている。

廣田委員

- ・以前学校に行った際に図書が痛んでおり、担当の先生が修復していたが、とても手が回らない状況であった。そこで修復のボランティアを募集したら、2人の応募があり、あっという間に修復が進んだ。先生だけだと図書の管理が追い付かない実態がある。

蔵品教育長

- ・コミュニティスクールでも話題として取り上げ、そういった支援が進めばありがたい。

廣田委員

- ・子どもの目につく場で修復すると、子どもと一緒に修復するようになったり、図書の扱いを注意するようになると思う。残念ながらボランティアは子どもが帰った後に修復していた。

佐藤学校教育課長

- ・各学校の蔵書の本数は国の規定する基準を満たしているが、古い図書もその数に入っている。古い図書を定期的に廃棄し、その分新しい図書を購入し蔵書数を保つのが

正しいやり方だが、人手が足りずこの循環が難しい状況であり危惧している。先ほどお話があったボランティアの力を借りて図書を整備していくのも一つのやり方だと思うし、行政の方でも研究していかないといかない。

庭野委員

- 本当に読書資料が必要なのは中学生、高校生である。これからの進路のことを考え情報を得て、自分の生き方を決めるための読書が重要であるが、今の中・高生はそこが抜けている。何とか中・高生に読書の重要性をアピールしたいと考えている。

佐藤委員

- 学校の図書管理は、司書教諭の資格を持った方がやっているのか。

佐藤学校教育課長

- 資格を持った教諭を配置しているが、通常業務を行いながらであり専門ではない。

佐藤委員

- 情報館に足を運ぶ機会を、学校などで設けていただけるといいと思う。

浅田委員

- 高校生の読書離れが進んでいるが、高校の司書の先生は頑張っている。小さいころからの習慣づけが大事なので、ブックスタート事業は良い事業だと思う。

(以上の質疑のあと了承した)

③ 報告第2号 十日町市スポーツ施設長寿命化計画の策定について

蔵品教育長

- 事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ推進課長

- 資料に基づき説明

庭野委員

- 当間のグラウンドは対象ではないのか。

金澤文化スポーツ部長

- 今回の計画は建物が対象で、グラウンドは対象ではない。

(以上の質疑のあと了承した)

④ 報告第3号 令和3年度十日町市博物館の休館日、開館日の変更について

蔵品教育長

- 事務局の説明を求めた。

石原文化財課長

- 資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑤ 報告第4号 十日町市松之山郷民俗資料館の休館日の変更について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

石原文化財課長
・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑥ 報告第5号 十日町市理科教育センター運営委員の委嘱について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

佐藤学校教育課長
・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑦ 報告第6号 十日町市中学校部活動指導員の委嘱について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

佐藤学校教育課長
・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑧ 報告第7号 十日町市学校運営協議会委員の任命について
蔵品教育長
・事務局の説明を求めた。

佐藤学校教育課長
・資料に基づき説明

廣田委員
・運営協議会は地域の意見を学校に反映するための会だが、委員や先生にそういった意識が低いと感じた。先生も含め、委員に対して研修をお願いしたい。

佐藤学校教育課長
・廣田委員の言うとおり、委員への研修は大事なことだと考えており、昨年度はコロナ禍で研修が実施できなかったが、今年度は研修を実施したい。

廣田委員
・運営協議会は年間何回分の予算を計上しているのか。

佐藤学校教育課長

- ・ 予算は委員への年額報酬のみである。会議の回数は特に決めていない。

(以上の質疑のあと了承した)

- ⑨ 報告第8号 十日町市学校支援地域コーディネーターの委嘱について
蔵品教育長

- ・ 事務局の説明を求めた。

佐藤学校教育課長

- ・ 資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑩ 報告第9号 十日町市公民館運営委員及び公民館分館運営委員の委嘱について
蔵品教育長

- ・ 事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・ 資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑪ 報告第10号 十日町市スポーツ推進委員の任命について
蔵品教育長

- ・ 事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ推進課長

- ・ 資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑫ 報告第11号 十日町情報館協議会(兼図書館協議会)委員の任命について
蔵品教育長

- ・ 事務局の説明を求めた。

笠原情報館長

- ・ 資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

- ⑬ 報告第12号 十日町市子ども読書活動推進会議委員の委嘱について
蔵品教育長

- ・ 事務局の説明を求めた。

笠原情報館長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

5 その他

- ① 令和3年度十日町市成人式の延期について
 - ・資料に基づき説明
- ② 第34回信濃川河岸段丘ウォーク十日町市内通過コースの開催中止について
 - ・資料に基づき説明
- ③ 十日町市民生委員推薦委員の推薦について
 - ・資料に基づき説明
 - ・事務局が浅田委員を推薦、浅田委員も了承した。
- ④ 最近の動きについて
 - ・教育長、各部長、各課長等が資料に基づき説明
- ⑤ 5月の主な行事予定について
 - ・資料に基づき説明
- ⑥ 次回の教育委員会の開催日時
 - ・5月臨時会 5月18日(火) 9時30分から開催することを確認した。
 - ・5月定例会 5月28日(金) 13時30分から開催することを決定した。

以上で、15時45分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記